

科目進度と各学年の到達目標 (令和6年度入学生)

黒字:必修科目 青:選択科目 茶:保健師課程自由科目 ピンク:助産師課程自由科目 緑:養護教諭課程自由科目 ■■■:各選択制課程の選択必修科目

区分	領域	1年次				2年次				3年次				4年次			
		1S	単位	2S	単位	3S	単位	4S	単位	5S	単位	6S	単位	7S	単位	8S	単位
基盤科目	科人文	哲学	1	生命倫理学	1					宗教学	1					芸術	1
		文学	1	壬生の歴史と文化	1												
		ジェンダーとセクシュアリティ	1														
	科学然	化学	1	人間工学	1					地球環境論	1			天文と気象	1		
		生物学	1	生活環境論	1												
	科社会学	ボランティア論	1	■日本国憲法と人権	2	国際社会の動向	1			社会学	1			異文化理解	1		
		■スポーツと健康	2	人間と歴史	1					国際社会の動向	1						
	アカデミックスキル	コミュニケーション英語	1	医療英語	1	中国語	1	実践英語	1	情報技術の進歩と医療	1	実践英語	1	アカデミック英語	1		
		教育原論	2	統計学	1	韓国語	1										
		情報リテラシー	2	アカデミックスキル応用	1	フランス語	1										
アカデミックスキル基礎		1			ドイツ語	1											
専門基盤科目	健康	人体の構造Ⅰ	2	人体の機能Ⅰ	2	病態治療内科学	2	保健医療福祉行政論	2	リハビリテーション論	1	■疫学・保健統計	1				
		人体の構造Ⅱ	1	人体の機能Ⅱ	1	病態治療外科学	2	■臨床心理学	1	補完代替療法	1						
		発達心理学	2	生化学	1	薬理学	1	東洋医学	1	■学校保健と産業保健	2						
				微生物学	1	臨床検査	1	放射線と看護	1	■周産期医学	1						
				病理学	1	臨床栄養学	1										
				公衆衛生学	1	社会保障論	1										
	看護	看護学原論	2	診断-治療援助論	2	フィジカルアセスメント	2	急性期看護学	1	急性期看護方法論	2	国際看護学演習	1				
		看護人間関係論	2	成人看護学	1	看護過程展開論	2	慢性期看護学	1	慢性期看護方法論	2						
		日常生活援助論	2	高齢者看護学	1	母性看護学	1	精神看護学	2	精神看護方法論	2						
						小児看護学	1	母性看護方法論	2	医療安全	1						
専門科目	実践	コミュニティヘルスインターンシップ	1	看護学基礎実習	1			日常生活援助実習	2	急性期看護学実習	2	課題探究実習	2				
								高齢者看護学実習	2	慢性期看護学実習	2						
								多職種連携実習	1	母性看護学実習	2						
								小児看護学保健実習	1	小児看護学医療実習	1						
										在宅看護学実習	2						
	発展	キャリアデザイン	1	キャリアデザイン演習	1					看護研究方法論	1	看護理論	1	卒業研究ゼミナール	1	キャリア発達論	1
											クリティカルケア論	1	卒業研究	2			
											臨床推論	1	国際看護学	1	看護教育	1	
													看護管理	1	遺伝看護学	1	
														看護と政策	1		
保健師課程自由科目										地域保健実習	1	公衆衛生看護展開論	2				
助産師課程自由科目											地域母子保健	1	公衆衛生看護学実習	3			
											妊娠期助産診断・技術学	1	助産診断・技術学演習	2			
											分娩期助産診断・技術学	1	助産管理	1			
											ハイリスク助産診断・技術学	1	助産学実習	9			
養護教諭課程自由科目	教職概論	1	生徒指導論	1					道徳・特別活動・総合的学習指導論	2	教育方法論	2	養護実習	5	教職実践演習	2	
	教育制度論	1	教育相談論	1					特別支援教育概論	1	教職総合演習(選)	1					
	教育課程論	1															
学年別到達目標	DP1	知的好奇心を持ち、自ら調べることができる。	興味を持つ分野について自ら調べ、疑問を解決できる。				物事を客観的・批判的に捉え、本質を見極めようとする姿勢を身につける。				探究心を持ち、自己を教育し続けることができる。						
		自己の希望や強みを明確にし、キャリアプランを考えることができる。	自己を内省し、看護職者としての目標を定めることができる。				内省を通して自己の課題を見出し、看護職者としての目標に向けて努力することができる。										
	DP2	看護の対象を身体的・心理的・社会的な側面から捉える必要性を理解できる。	多様な健康レベルにある対象の課題解決に向けて、現象を科学的思考を用いてアセスメントできる。				多様な健康レベルにある対象に、専門的な知識と技術を統合し看護を実践できる。				科学的思考を備え、根拠に基づいた看護を実践できる。						
		原理・原則に基づく基本的な看護技術を修得する。	対象のニーズに応じた日常の生活援助技術を実践できる。														
	DP3	グループ内で役割を担い、責任ある行動をとることができる。	保健医療福祉における多職種連携の意義と方法が理解できる。				保健医療福祉チームの一員として、自らの役割を理解し行動できる。				自らの役割と責任を理解し、人々と協働できる。						
DP4	状況に応じた適切な言葉遣い・態度・身だしなみができる。	自己の行動に責任を持つことができる。				他者の利益を考え行動できる。				プロフェッショナルズを身につけ、倫理的行動をとることができる。							
	人々の尊厳及び基本的人権について理解できる。	看護職者としての役割と責務を理解し、人々の尊厳と人権を擁護するための方法を説明できる。				看護職者としての専門性を高め、人々の意思を尊重した看護を実践できる。											
DP5	自らが住む地域の歴史的・文化的・社会的背景を理解できる。	他の地域や国際社会に視点を広げ、多様な生活背景や価値観を持つ人々を理解できる。															
	個人を取り巻く環境や文化が人々の健康に影響することを理解できる。	地域および国際社会における健康課題と戦略を理解できる。								グローバルな視野で、多様性を尊重することができる。							
		多言語の基本的スキルを身につけ、積極的にコミュニケーションを図ることができる。															